



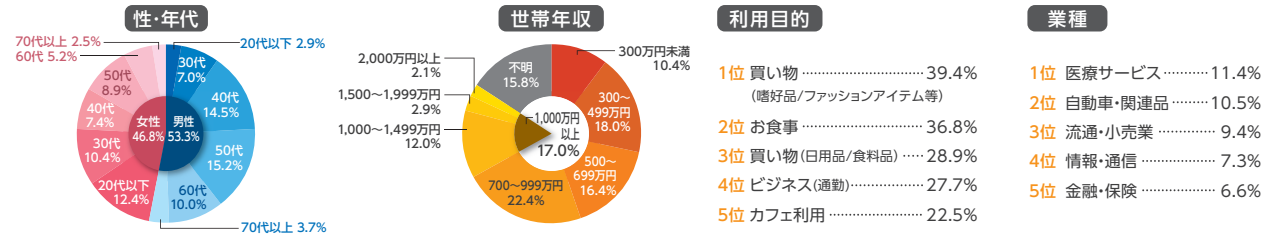
在来線プロフィール

在来線プロフィール調査2022

- 調査時期:2022年11月
- 調査方法:インターネット調査
- 調査対象:該当駅/該当路線を1ヶ月に1回以上利用
- サンプル数:2,000サンプル
- 調査主体:株式会社JR東海エージェンシー
- 実査委託先:楽天インサイト株式会社

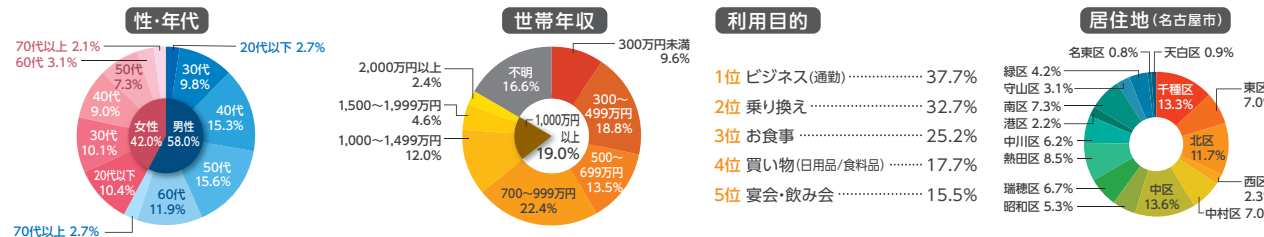
名古屋駅

東海地区最大の交通拠点となる駅。利用目的の上位3位を買い物/食事で占めていることから、プライベートからビジネスまで幅広く利用されていることがうかがえる。



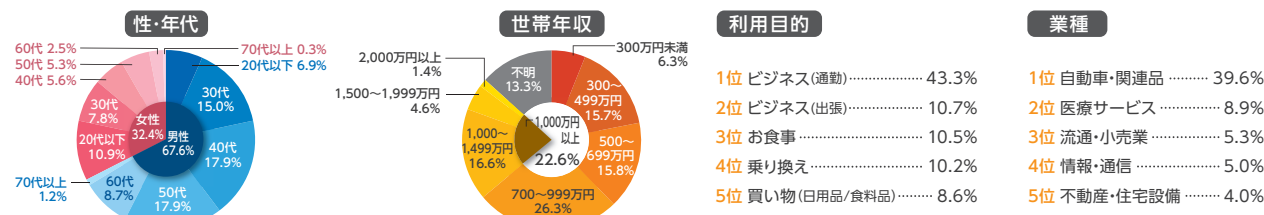
金山駅

名古屋駅に次ぐターミナル駅。駅利用者の多くが名古屋市在住で、居住地内駅でも市内の区に大きな偏りがいないことから、乗り換え地点として多く利用されていることがわかる。



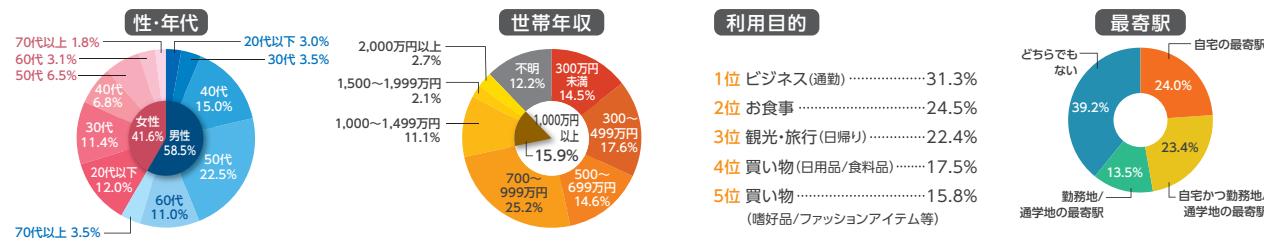
刈谷駅

自動車関連企業が多数、通勤客でにぎわう駅。駅利用者が勤めている会社の業種も2位を大きく引き離して「自動車・関連品」が首位となっている。



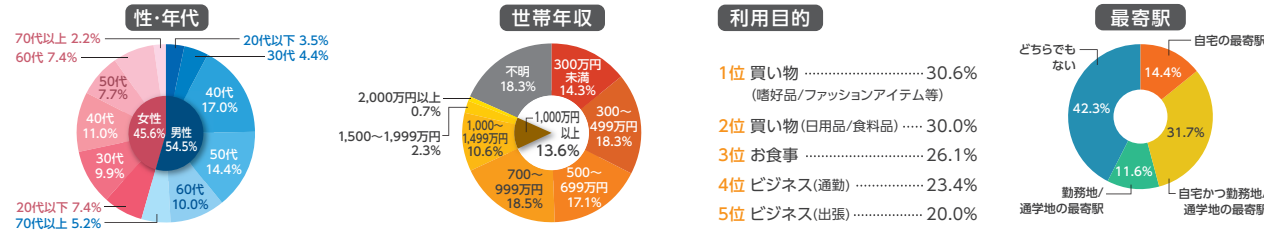
岐阜駅

構内や周辺の商業施設が充実しており、人の往来が多い駅。勤務地からの最寄駅よりも自宅からの最寄駅の利用者が多く、ベッドタウンとしても機能していることがうかがえる。



静岡駅

駅周辺に行政機関や商業施設、住居がまとまり、コンパクトシティ化されている。利用目的の上位2位が「買い物」で、利用者の生活に密着した駅であると推察できる。



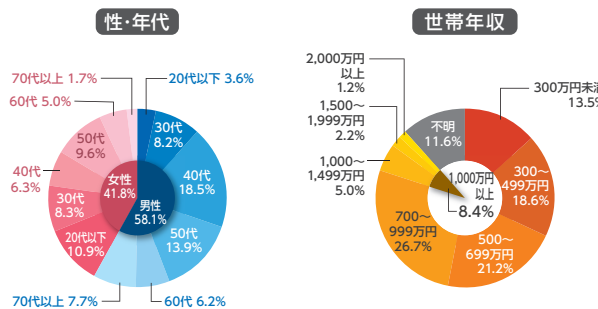
※少数第二位を四捨五入して算出

連絡線

- 新 東海道新幹線 J東 東海道本線 J中 中央本線 J関 関西本線 J飯 飯田線 J高 高山本線 地 地下鉄
あ あおなみ線 名 名鉄 近 近鉄 愛 愛知環状鉄道 豊 豊橋鉄道 遠 遠州鉄道 静 静岡鉄道

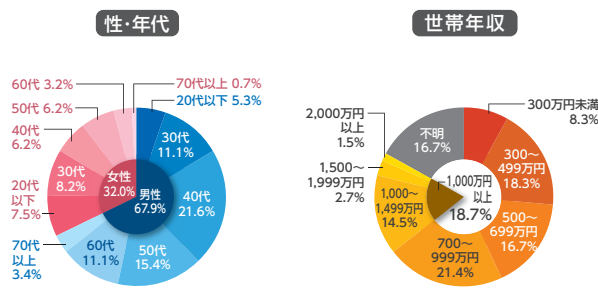
尾張一宮駅

ベッドタウンとしてファミリー層に人気のある駅。

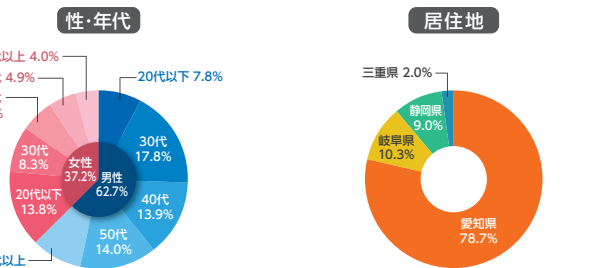


豊橋駅

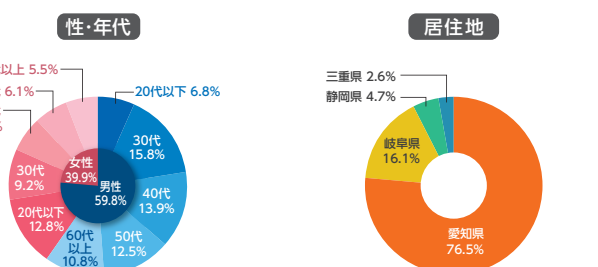
東三河エリアの拠点となる大型ターミナル駅。



東海道本線 [名古屋-豊橋間]

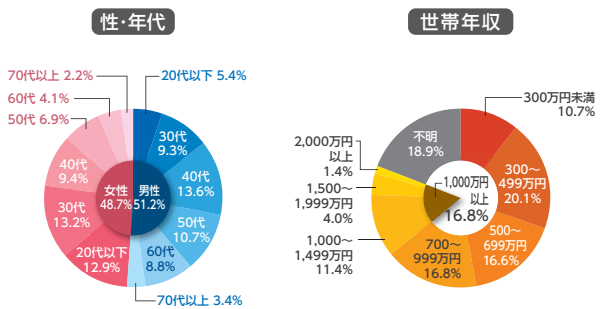


中央本線 [名古屋-多治見間]



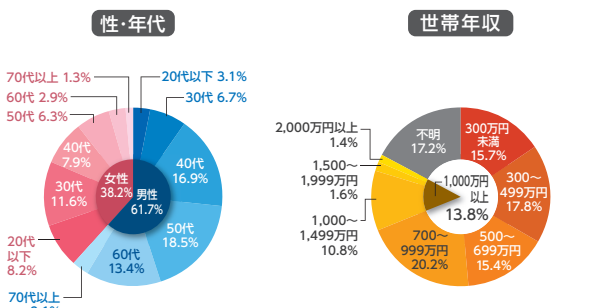
千種駅

予備校も多数あり、若年層の利用が多い駅。

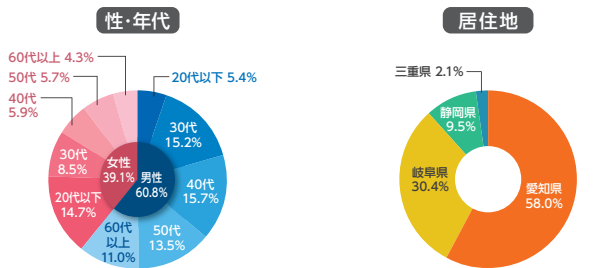


浜松駅

商業施設やオフィスビルが林立し、ビジネス客や観光客で賑わう駅。



東海道本線 [名古屋-岐阜間]



在来線駅 乗車人員

順位	駅名	乗車人員(千人/日)	順位	駅名	乗車人員(千人/日)
1	名古屋*	198.7	8	三島	27.8
2	金山	68.5	9	千種	25.5
3	静岡*	54.0	10	尾張一宮	24.5
4	浜松*	33.7	11	豊橋*	25.2
5	大曽根	32.4	12	鶴舞	19.7
6	岐阜	28.4	13	沼津	18.5
7	刈谷	28.1			

※JR東海公表(2023年度)(*新幹線・在来線合計)